



UNIVERSITY  
OF  
YAMANASHI

# 山梨大学 附属図書館 概要



甲府キャンパスより富士山を望む

THE UNIVERSITY OF  
YAMANASHI LIBRARY

# MISSION

## 大学統合後の附属図書館の発展に寄せて

附属図書館長 村上幸利

大学統合によって、新しい山梨大学が平成14年10月1日に創設されました。新大学の理念は、諸分野の協調によって幅広い教育研究を推進し、豊かな知識と思索力を備えた優秀な人材を育成すること、並びに地域社会と国際社会に貢献できる教育研究機関であることにあります。附属図書館におきましても、この本学の理念に沿って、業務を遂行していく所存であります。すなわち、本学の教育研究活動を今後一層支援するためにも、広く利用者に学術情報を提供して活用していただくための基盤整備と環境整備にさらに努めていくこと、また本学の教育研究成果や所蔵図書資料を地域社会に公開して、地域の知的情報発信基地としての機能を保有した大学図書館を目指していくこととなります。

特に、現在の著しい科学技術の進展や急速な国際化に備えては、電子情報の利用環境の快適化が必須であります。これに関しては、学術情報システムの基盤整備と電子図書館サービスの機能向上が急務であります。また併せて、旧来の貴重な学術図書資料の適正な保存と活用も大学図書館としての重要な使命であります。これらの課題については、大学の統合を機に、今後は一層、積極的に取り組むことを考えております。

さらに、大学法人化に伴う大学の改革が1年余後に迫りつつあります。附属図書館としては、大学図書館としての個性化を図り、利用者の要望に応え、質の高いサービスを学内外に提供できなければ、その存在の意義と価値が否定される可能性すらあると考えております。

このような変動の時代に対して、附属図書館は、大学統合に伴って発足した新体制のもとで、魅力ある大学図書館を目指し、さらなる図書館機能の向上に努めていく所存でありますので、今後とも、学内外の関係者各位の御指導と御鞭撻をお願いする次第であります。

## 医学分館としての新たな展開に向けて

医学分館長 剣 邦夫

この度の大学統合で、旧山梨医科大学附属図書館は、平成14年10月から山梨大学附属図書館医学分館になりました。

附属図書館の理念等については、館長が述べられていますので、私は医学分館に課せられた今後の課題等について述べたいと思います。

まず、シラバスの電子化とそれに沿った図書資料の充実、電子ジャーナルの拡充とその検索機能の向上を図っていくこととなります。

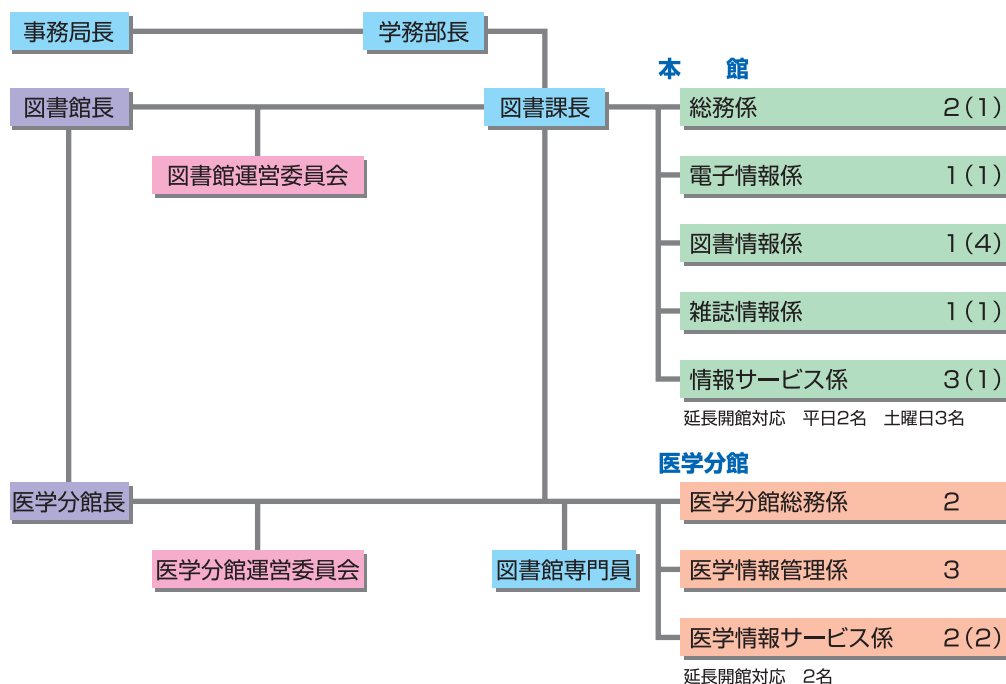
次に、医療従事者の育成や地域社会への貢献としての視点から、現在ある「生と死のコーナー」の一層の充実を図ることとなります。

また、国立大学も平成16年度から法人化される予定であり、我々を取り巻く環境も厳しくなりますが、大学統合によって明るい展望が開けたところであり、新体制のもとで、魅力ある大学図書館を目指し、本館と協力しながら、さらなる図書館機能の向上に努めていく所存であります。

# STRUCTURE

## 事務機構図

### 山梨大学附属図書館組織図



# ORGANIZATION

## 運営組織

名称	構成員
図書館運営委員会	附属図書館長 医学分館長 各学部から選出された教授又は助教授 各4名
医学分館運営委員会	医学分館長 医学科から選出された教授又は助教授 8名 看護学科から // 2名



本館 (甲府キャンパス)



医学分館 (玉穂キャンパス)

# HISTORY

## 附属図書館の歩み

### 旧山梨大学附属図書館

1949年	昭和24年 5月	山梨大学設置（法律第150号）
1950年	昭和25年11月	工学部内に附属図書館を開設
1954年	昭和29年10月	「山梨大学附属図書館規則」「図書館長選考規程」制定
1959年	昭和34年 4月	「山梨大学附属図書館閲覧規則」制定
1965年	昭和40年 9月	学芸学部構内に附属図書館本館の新営工事着工
1966年	昭和41年 4月	附属図書館本館竣工
	5月	新館で閲覧業務開始
1972年	昭和47年10月	附属図書館増築工事着工
1973年	昭和48年 3月	増築工事完了
1975年	昭和50年 2月	「山梨大学附属図書館文献複写規則」を制定し、業務を開始

### 旧山梨大学附属図書館

1978年	昭和53年	
1979年	昭和54年	
1981年	昭和56年	
1982年	昭和57年	4月 貸出・返却業務の電算化
1983年	昭和58年	
1984年	昭和59年	
1985年	昭和60年	
1986年	昭和61年 3月	「山梨大学附属図書館規程」 「山梨大学附属図書館委員会規程」制定
1987年	昭和62年 4月	NACSIS-CATに登録開始
1988年	昭和63年	
1989年	平成元年 2月	図書館電算業務の運用開始
1992年	平成 4年 4月	NACSIS-ILLに参加
1993年	平成 5年	
1994年	平成 6年	9月 附属図書館報『図書館だより』創刊
1995年	平成 7年 9月	図書館ホームページ公開
1996年	平成 8年	
1997年	平成 9年 3月	ビデオ学習コーナーの設置
1998年	平成10年	
1999年	平成11年 4月	Web版OPAC公開
	9月	電子ジャーナルの導入開始
2000年	平成12年 2月	情報メディア館竣工（マルチメディア多目的ホール，マルチメディアルームの設置）， 視聴覚室設置
	8月	自己点検評価・学外検証者報告書発行
	12月	一般市民へ図書館の館外貸出開始
2001年	平成13年 1月	OPAC自動横断検索システム導入
	6月	iモード版のホームページ開設
2002年	平成14年 5月	子ども図書室開室
	9月	専攻科生以上に24時間特別利用開始

### 旧山梨医科大学附属図書館

10月	山梨医科大学設置（法律第74号）
4月	事務局に図書課設置 講義棟 2階に図書室を設置
4月	臨床研究棟 2階に閲覧室・事務室を移設
3月	附属図書館新館竣工（1,663m <sup>2</sup> ）
9月	「附属図書館利用規程」制定 附属図書館新館開館
4月	教務部図書課と名称変更
6月	「附属図書館長選考規程」制定
10月	「附属図書館規則」制定
6月	「附属図書館運営委員会規程」制定
7月	第1回附属図書館運営委員会開催
2月	学術情報センターと接続
4月	図書館電算業務の運用開始
6月	NACSIS-CATに登録開始
4月	「生と死のコーナー」設置 NACSIS-ILLに参加
9月	附属図書館報『図書館だより』創刊
4月	大学院生以上に24時間特別利用開始
12月	図書館ホームページ公開
6月	Web版OPAC公開
7月	電子ジャーナルの導入開始
12月	一般市民へ図書館の館外貸出開始
10月	24時間特別利用の対象者を学部1年次生まで拡大（全学対象となる）
11月	新教官閲覧室及び大学学習室の設置
9月	自己点検評価報告書発行

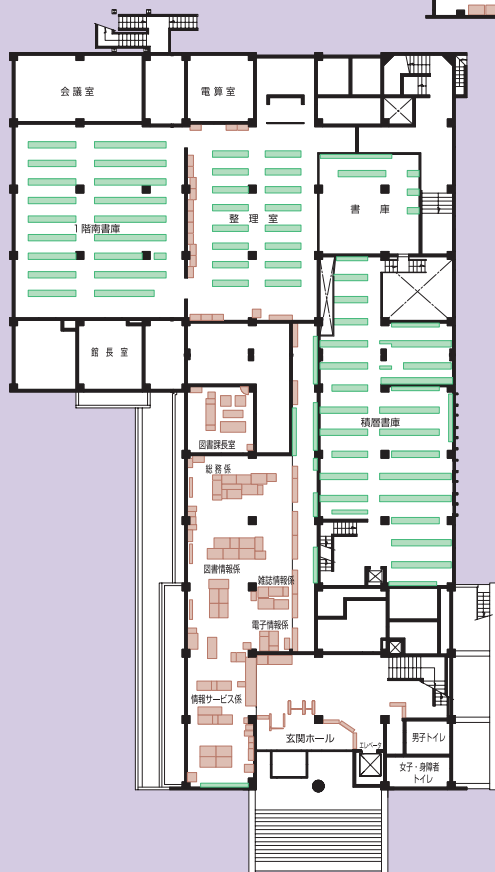
平成14年10月 大学統合により、両附属図書館を統合して、旧山梨医科大学附属図書館は、医学分館となる。図書館は学務部図書課に所属し、図書課長、図書館専門員各1名のほか、本館5係、分館3係体制となる。



3階平面図



2階平面図



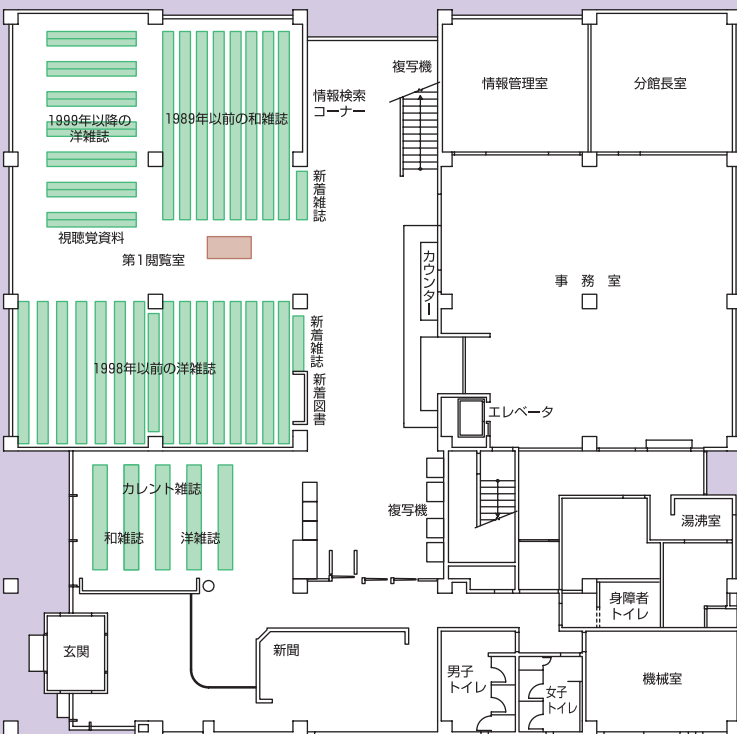
1階平面図



# 医学分館



2階平面図



1階平面図



# SERVICES

## 図書館サービス

### 1 奉仕対象者数 (Users)

(平成14年4月1日現在)

区分	本館	分館
学生	4,085	1,103
教職員	1,147	1,558
その他	127	104
合計	5,359	2,765

### 2 開館日数 (Open Days)

(平成13年度)

区分	日数
本館	263日
分館	288日

### 3 入館者数 (Visitors)

(平成13年度)

区分	学内者	学外者
本館	183,149	811
分館	121,636	545

### 4 館外貸出冊数 (Lending)

(平成13年度)

区分	学生	教職員	学外者
本館	18,790	790	384
分館	14,251	2,013	195

### 5 参考調査件数 (Reference)

(平成13年度)

区分	件数
本館	933
分館	3,094

### 6 相互利用 (Interlibrary Loan Services)

(平成13年度)

区分	貸借 (単位:冊)		文献複写 (単位:件)	
	貸出	借受	受付	依頼
本館	317	605	4,195	3,886
分館	88	75	5,969	6,215
合計	405	680	10,164	10,101

# MATERIALS

## 図書館の資料

### 1 図書及び雑誌の蔵書数 (Holdings)

(平成14年3月31日現在)

区分	図書 (単位:冊)			雑誌 (単位:種)			電子ジャーナル
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計	
本館	344,650	133,902	478,552	6,232	1,530	7,762	1,739
分館	49,332	48,225	97,557	1,630	1,305	2,935	2,984
合計	393,982	182,127	576,109	7,862	2,835	10,697	—

### 2 図書・雑誌受入数 (Annual Acquisition)

(平成13年度)

区分	図書 (単位:冊)			雑誌 (単位:種)		
	和図書	洋図書	合計	和雑誌	洋雑誌	合計
本館	3,807	702	4,509	2,479	528	3,007
分館	3,204	1,545	4,749	560	474	1,034
合計	7,011	2,247	9,258	3,039	1,002	4,041

### 3 コレクション

#### (1) 近代文学文庫

明治期の浪漫派及び芸術派関係の作家の著作を中心とした初版本を主とし、重要かつ希少な雑誌類を含んだ系統的コレクション。現在も継続購入中。

#### (2) 大型コレクション

##### ●「障害者の社会参加映画」フィルムライブラリー (昭和56年度)

ヨーロッパ・日本における心身障害者の社会参加の実態及び問題点を提起した16mmフィルム、全10集。

##### ●文部省選定映画「体育・レクリエーション編」(昭和57年度)

少年期におけるスポーツのあり方、必要性等を体育社会学、運動生理学的側面に立って解説した8mmフィルム、全11巻。

##### ●静嘉堂文庫所蔵「物語文学書集成」(昭和61年度)

「静嘉堂文庫国書分類目録」「静嘉堂文庫国書分類目録続」中、和文の部の(一)物語、(二)草子、(三)日記・紀行、(四)歴史物語・軍記物語、(五)文集、(六)消息文、(七)雑の項に掲げられている写本・刊本のうちから、重複本及び明治期の刊本を除いて、938点4,130冊をマイクロフィルムに収めたもの。付・収録総目録。35mmマイクロフィルム318リール。

##### ●ERIC 1966-1985 (昭和62年度)

米国教育局出版のマイクロフィッシュで、米国内のあらゆる教育情報を網羅。我が国では入手のしにくい、教育関係学位論文や各種シンポジウム議事録などを収録。346,428枚。

##### ●Spinoza's Work and Influence (スピノザの作品と影響) (平成2年度)

哲学者スピノザの著作の初版本・翻訳及びスピノザ研究書、当時の政治・文化に関する原典資料、さらにスピノザに影響を及ぼした著名な古代哲学者、中世哲学者、ユダヤ哲学者、神秘哲学者、ルネサンス人文主義者、並びにデカルトやライブニッツをはじめとする同時代哲学者の原典、影響を受けた後代哲学者の原典から成るコレクション。96点108冊。



玉穂キャンパス全景



本館 (甲府キャンパス)



医学分館 (玉穂キャンパス)

## 山梨大学附属図書館概要

編集・発行 山梨大学学務部図書課 2003年1月  
 〒400-8510 山梨県甲府市武田四丁目4-37  
 TEL 055-220-8063  
 FAX 055-220-8793

医学分館  
 〒409-3898 山梨県中巨摩郡玉穂町下河東1110  
 TEL 055-273-9353  
 FAX 055-273-6164

<http://www.lib.yamanashi.ac.jp/>